



# 直峰通信

令和5年10月19日(木)発行

## 閉校記念式典

10月14日(土)、県立高田高等学校安塚分校閉校記念式典を挙行了しました。当日は、新潟県教育委員会教育長 佐野 哲郎 様、上越市長 中川 幹太 様(代理 上越市副市長 八木 智学 様)をはじめ、多くの来賓の皆様から御臨席いただき、誠にありがとうございました。また、保護者の皆様には、前日の準備からご協力いただき、無事に終了することができました。

閉校だからと寂しく終わるのではなく、在校生、若い同窓生の未来のために、明るく、元気に閉校式を行いたいという思いからスタートしました。式は厳粛

な雰囲気の中にも、温かさもあるとてもよい式となりました。実行委員長(安塚分校同窓会長)の挨拶では、「一期生として入学した安塚分校が卒業して間もなく閉校になることの驚きと寂しさがあったが、閉校式の準備を進める中で、感謝の気持ちが湧いてきて明るい気持ちで幕を下ろしたいと思うようになった。」と述べられていました。また、安塚分校最後の学年でもある七期生代表の挨拶では、「学年を追うごとに先輩たちが卒業していき、閉校の実感が湧いてきた。1学年だけで行う学校行事など多くの壁があったが、どんな時でも仲間と協力し、成長することができた。先輩方の伝統を受け継ぎ、安塚分校の生徒であることを誇りに、閉校式が終わってもこの学校を盛り上げていきたい」と力強く宣言しました。



実行委員長あいさつ 同窓会長 新保聖さん(1期生)

## 記念講演会

式典後、フリーアナウンサーの伊勢 みずほ様を講師にお招きし、「みんなの言葉は生きている～キャンサーギフトという生き方」と題し、記念講演会を実施しました。講演会では、アナウンサーとして感じる「言葉遣い、言葉選びなど言葉の大切さ」と「ご自身のがん経験から学んだこと」を中心に講演していただきました。伊勢さんは、高校生の時に所属していた放送部の経験から、アナウンサー



フリーアナウンサー 伊勢みずほ さん

の道を選んだそうですが、「アナウンサーになりたい」と言葉にすることによって、いろいろな情報が入ってきて、助けてくれる人が増えたそうです。在校生に向け、夢や目標があるなら自分の中にその思いを留めておくのではなく、言葉にして発信することが夢に近づく方法だと教えてくれました。反対にアナウンサーになって感じた言葉の怖さについて、毎日使っている何気ない言葉が、時には人を傷つけ、その人の人生に影響を与えることもあるため、慎重に言葉を選んでいくとのこと。「安塚地域には美しいところがたくさんあります。ぜひ足を運んでください。」放送自粛用語だそうです。どこが自粛用語が気になりますか?

講演会の後半では、9年前にがん告知を受け、闘病から学んだことを話してくださいました。「本当に辛いこと、苦しいことはなかなか人には言えないことが分かった。医師やご主人から勧められ、がんを公表したら、周囲からの励ましや応援メッセージがたくさん届いた。もっと早く言えていたら良かった。きちんと言葉で伝

えることの大切さを感じた。『話すことは、放すこと』一人で抱えて悩むことなく、みんなが生きやすい社会になればいい。」伊勢さんからたくさんを学んだすばらしい時間でした。保護者、地域の皆様からのアンケートにも、言葉の重さ大切さを改めて実感した。がんを乗り越え、県民に元気を届ける伊勢さんから元気をもらったなどの感想がありました。伊勢さんの好きな言葉は、「ありがとう」だそうです。こちらこそ、安塚分校に来ていただき、ありがとうございました。

## 同窓生の集い

講演会の後には、七期生の進行による「同窓生の集い」が行われました。七期生と職員で安塚分校9年間を振り返る写真を選んで作成したスライドショーを上映しました。1期生を中心に懐かしい写真を見て盛り上がり、会は終始和やかな雰囲気、分校の良さを感じられました。久しぶりに集まった同窓生、同級生たちは、会が終わっ



「同窓生の集い」七期生によるスライドショー上映の様子

てもお互いの近況報告をしたり、お世話になった先生方と思い出を語り合ったりしていました。閉校記念式典や記念講演会もそうですが、同窓生の集いを企画し、実施した目的が果たせ、良かったと思いました。先生たちも卒業生に久しぶりに再会し、すっかり大人になり、立派に成長している姿を見て安心していました。

今年度で閉校となり、学校としての役割は終わりを迎えますが、人と人とのつながりの大切さ、安塚分校が果たしてきた役割が確かなものであったことを同窓生の姿から感じることができました。参加して下さった同窓生の皆さんありがとうございました。また、当日都合がつかず参加できなかった同窓生の皆さん、ぜひ安塚分校に遊びに来てください。お待ちしております。



在校生、同窓生集合写真

## ◇◇◇安塚分校 Note はじめました◇◇◇

8月末、県教育委員会は、各県立高校等の魅力や特色ある取組を広く周知するために、メディアプラットフォームの「note（ノート）」を手掛ける note 株式会社（東京都千代田区）と協定を締結しました。安塚分校も note で日々の取組について発信していきます。



安塚分校 Note はこちらから↑

## 11月の主な行事

- 11月7日（火）直峰祭（文化祭）
- 11月8日（水）人権教育、同和教育講演会 \*保護者の皆様にも御案内いたします。
- 11月15日（水）人権教育、同和教育事後指導（総合的な探究の時間）
- 11月30日（木）～12月5日（火）期末考査

<スクール・カウンセラー 中井良和先生 来校予定日>

\*11月のS C来校日は、11月6日（月）午前、17日（金）、20日（月）となります。



## 新潟県立高田高等学校安塚分校

【担当 教頭 滝澤 祐樹】

〒942-0411 上越市安塚区下方 129 番地 Tel 025-592-2306 FAX 025-592-3541

HP <http://www.takada-h.nein.ed.jp/> mail school@takadayszk-h.nein.ed.jp

